



第311回 消費者委員会本会議

# 「ナッジ」活用に向けた取組状況について

環境省地球環境局 池本忠弘

環境省ナッジPT(プラチナ)/日本版ナッジ・ユニット(BEST) 創設・代表



令和元年12月13日

# 御説明の流れ

## 1. イントロ

- a. 「ナッジ」とは？
- b. 世界の「ナッジ・ユニット」たち

## 2. 国内の動向について

- a. 環境省ナッジPT(プラチナ)
- b. 日本版ナッジ・ユニット(BEST)
- c. 国内のナッジ活用の広がり

## 3. 考慮すべき論点(倫理的配慮を中心に)

- a. 公共政策としてのナッジ
- b. 効果的なナッジ
- c. ナッジを超えて(Beyond Nudge)



# 1. イントロ

---

## a. 「ナッジ」とは？

# ナッジ等の行動インサイトを活用した行動変容の促進

- **ナッジ** (nudge : **そっと後押しする**) とは、行動科学の知見 (**行動インサイト**) の活用により、「**人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法**」
- 人々が選択し、意思決定する**環境をデザイン**し、それにより**行動をもデザイン**する
- **選択の自由**を残し、**費用対効果の高い**ことを特徴として、欧米をはじめ世界の200を超える組織が、あらゆる政策領域 (SDGs & Beyond) に行動インサイトを活用
- 我が国では2018年に初めて成長戦略や骨太方針にナッジの活用を環境省事業とともに位置付け (2019年の成長戦略、骨太方針、統合イノベ戦略、AI戦略等にも位置づけ)

省エネナッジの例: 省エネレポートで 2%CO2削減  
(2017~2018年度実績。50万世帯で実証)

## 先月のご使用量比較



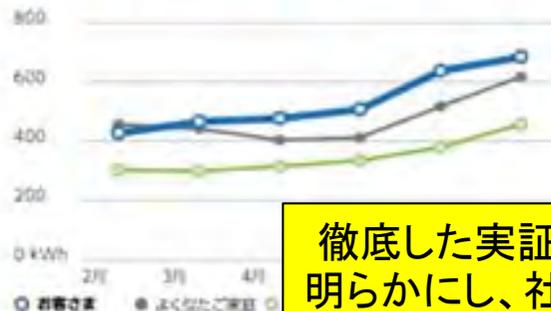
2013年6月20日 - 2013年7月21日

国内の最大100世帯のよく似たご家庭のデータを参考にしています。省エネ上手なご家庭とは、電気使用量の少ない上位20%の世帯を指します。詳細は特設サイトをご覧ください。 <https://nudge.jp/ner>

☹️ 大変悪い  
😊 良い  
😐 もう少し

**38%** 上回っています  
(省エネ上手なご家庭との比較)

## これまでのご使用量との比較



過去6か月のお客さまのご使用量は、よく似たご家庭を上回っています。  
**20,000円** の出費増です

徹底した実証主義により施策の効果を明らかにし、社会実装へ(EBPMの実践)

## 他の世帯との比較

【同調性・社会規範】

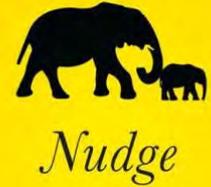
所属する集団内での他のメンバーの実態と望ましい水準の理解に役立つ

## 損失を強調したメッセージ

【損失回避性】

「ものを得る喜びよりも失う痛みの方が強く感じる」という行動経済学の理論を応用

# ナッジ (nudge : そっと後押しする) とは



英英辞典(ロングマン英英辞典)の定義をまとめると、

- ひじ等でそっと押して注意を引いたり前に進めたりすること
- 特定の決断や行動をするようにそっと説得・奨励すること

セイラー教授ら(2008)の定義では、

- 選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素

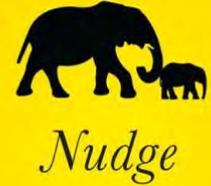


2017年  
ノーベル経済学賞

出典: Richard H. Thaler & Cass R. Sunstein (2008)

Nudge: Improving Decisions About Health, Wealth and Happiness 及びその邦訳(2009)

# ナッジ (nudge : そっと後押しする) とは



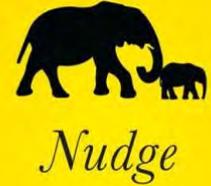
セイラー教授ら(2008)の定義では、

- 選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素



- 選択の自由は残す(規制・強制ではない)  
→ 自由の国アメリカ等で受け入れられた理由の1つ

# ナッジ (nudge : そっと後押しする) とは



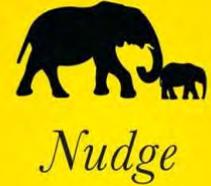
セイラー教授ら(2008)の定義では、

- 選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素



- 税制や補助金のように経済インセンティブを大きく変えるものではない
- 小さく経済インセンティブを変えるもの(少額の節約、ポイント等)は除外していないが、経済インセンティブの受け止め方の大小は個人差があり、一様に言えない
- 少なくとも、経済インセンティブだけで動かすのはナッジではない

# ナッジ (nudge : そっと後押しする) とは



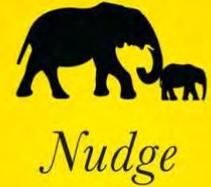
セイラー教授ら(2008)の定義では、

- 選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素



- 行動科学の知見や理論に基づいて、ということを端的に表したもの
- 行動科学は、行動経済学、心理学、社会学、認知科学、脳神経科学等行動に関する自然・人文・社会科学の総称 (behavioral sciences)
- 行動経済学のみではない (同調性、社会規範は経済性のみの議論ではない)

# ナッジ (nudge : そっと後押しする) とは



セイラー教授ら(2008)の定義では、

- 選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素



- 選択アーキテクチャーとは、人々が選択する「環境」のこと  
→ 自発的な意思決定のための環境をどうデザインするか

環境省が日本版ナッジ・ユニット  
BESTの事務局を担っています

人が意思決定し、選択する「環境」をデザインし  
それにより「行動」をもデザインすること

# 1. イントロ

---

## b. 世界の「ナッジ・ユニット」たち



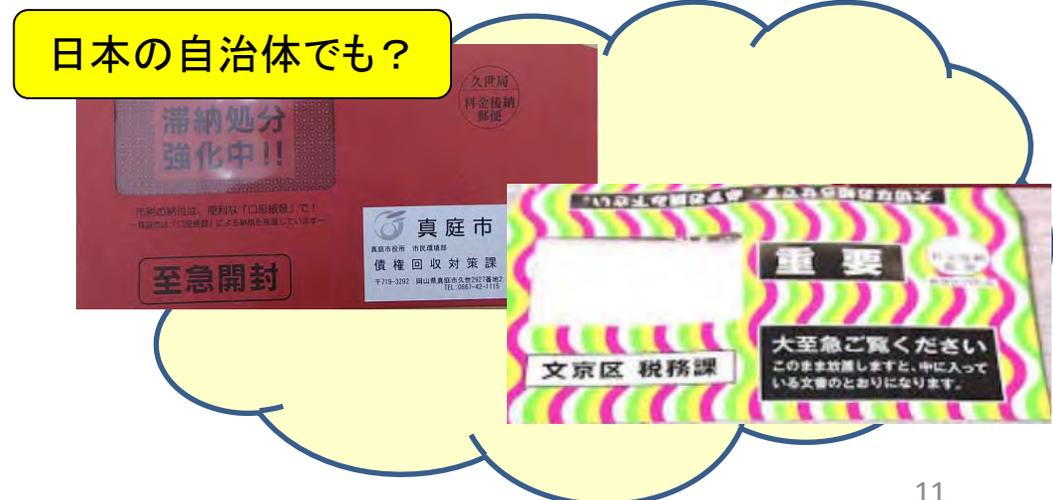
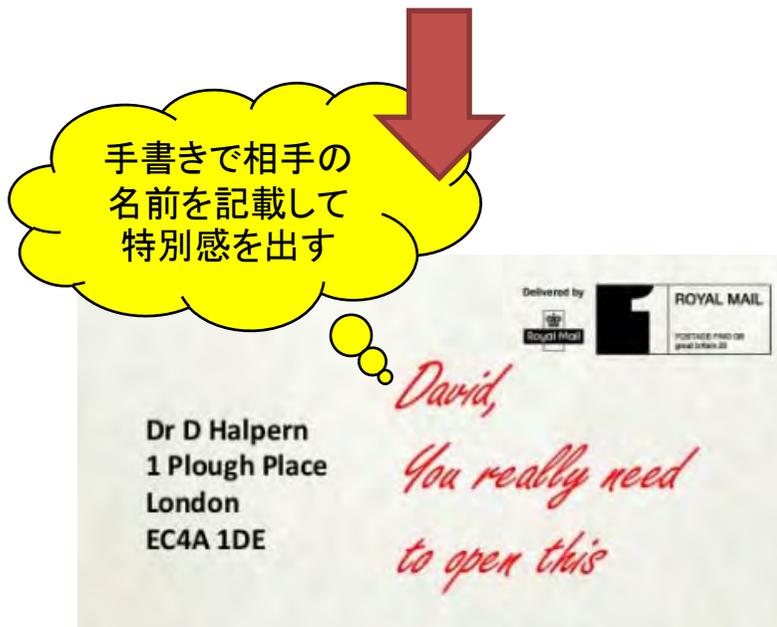
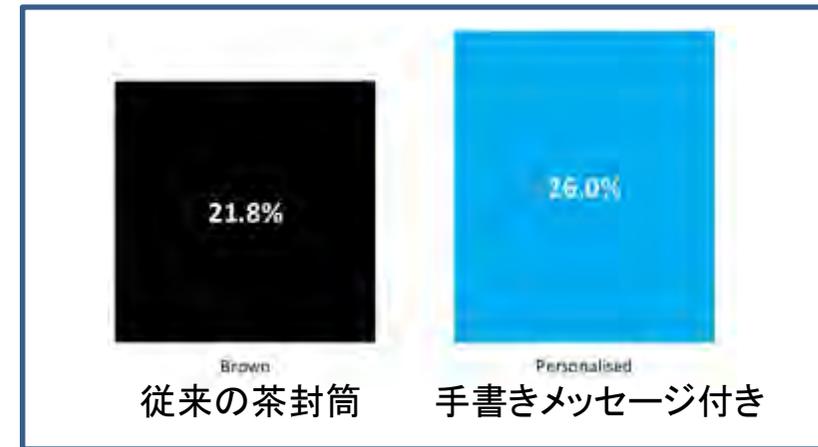


- 2010年、内閣府の下に **行動インサイトチーム** を発足  
(Behavioural Insights Team; 通称 Nudge Unit)
  - ー 公共サービスをコスト効率的かつ市民が利用しやすいものにする
  - ー 人間の行動に関するより現実的なモデルを政策に導入して成果を改善する
  - ー 人々が自分たちにとってより良い選択ができるようにする
  
- 以降、ナッジの活用に関する報告書や年次報告書を刊行  
(例) 2011年7月、行動変容とエネルギー使用に関するレポート
  
- 2014年2月、英国政府とNesta(イノベーション関連の慈善団体)との  
パートナーシップにより政府から独立した運営に移行

# ナッジの政策への応用（英国）：税の滞納①



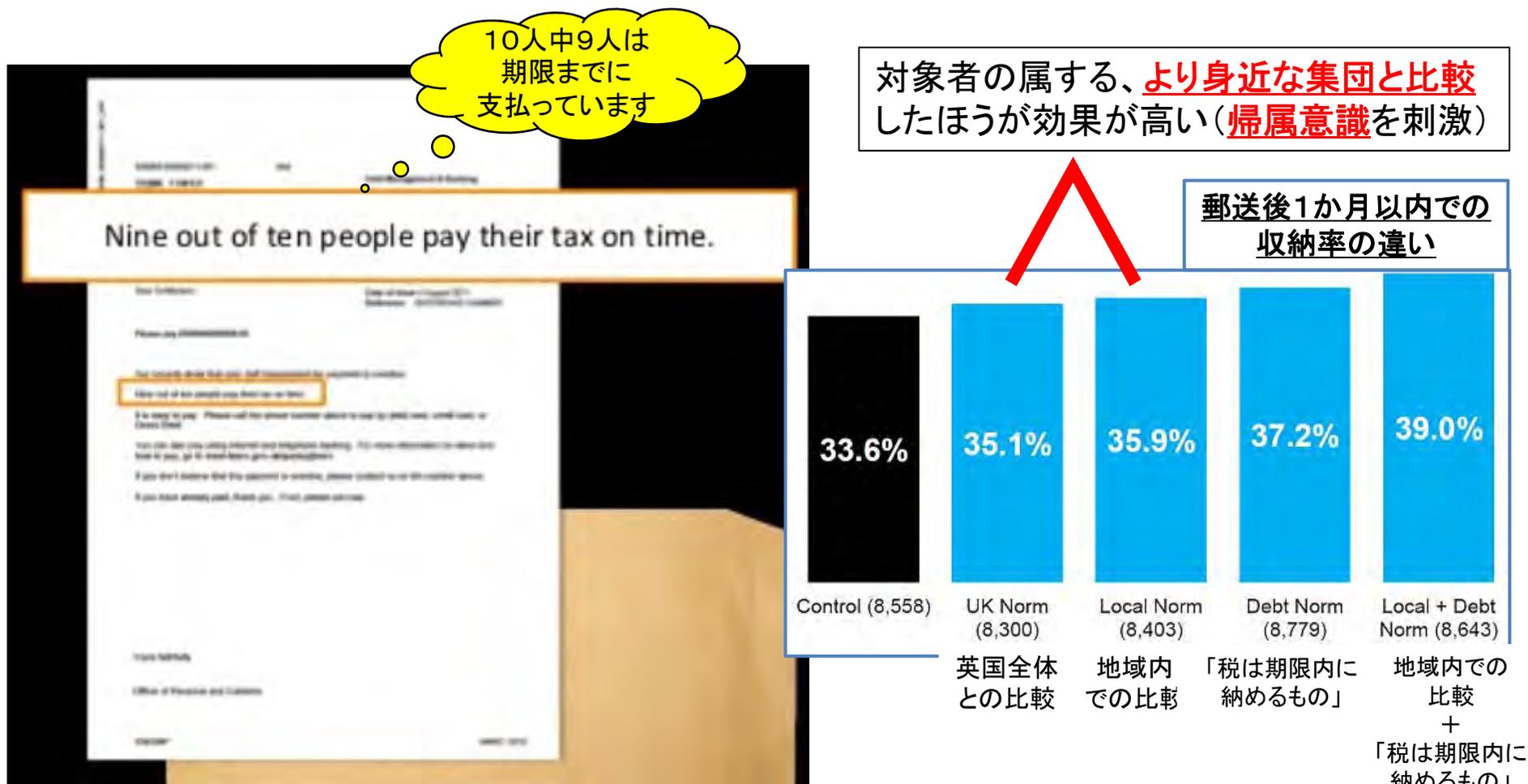
封筒に手書きで受取人の名前やメッセージを書くと（パーソナライゼーション）、開封率が上がり、税の支払いが**4.2%上昇**



# ナッジの政策への応用（英国）：税の滞納②



督促状に、「税は期限までに納めるべきもの」、「ほかの人は支払っている」等の社会規範メッセージを添えると収納率アップ





- 2014年、科学技術政策局が **社会・行動科学チーム** を発足  
(Social and Behavioral Sciences Team)

— 社会・行動科学の知見を 連邦政府の政策やプログラムの改善に活用 するための  
省庁横断的な応用行動科学の専門家集団

- 2015年9月、**行動科学の知見の活用に関する大統領令** を公布

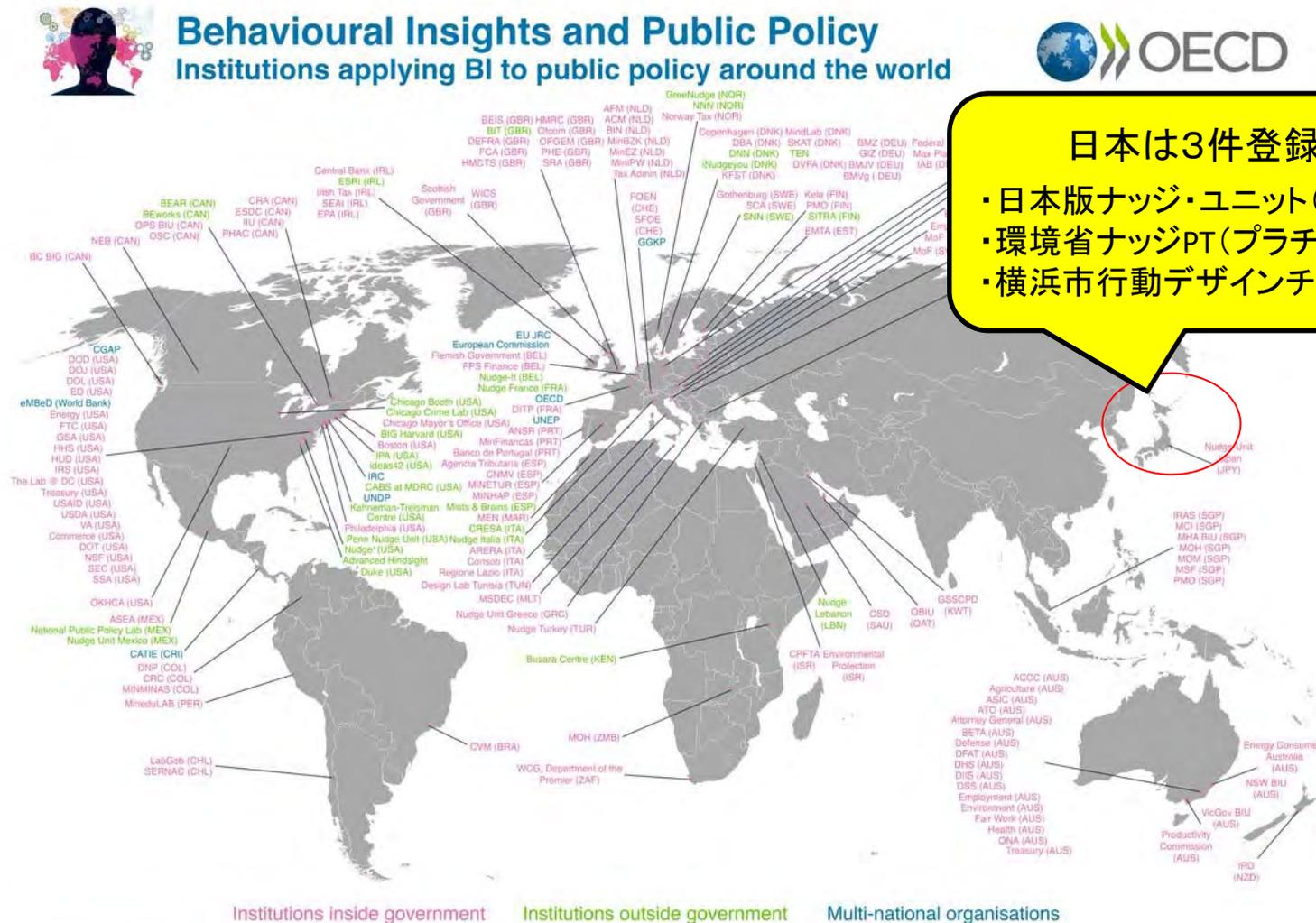
“行動科学の知見は、行政の効果と効率の改善を通じて、雇用、健康、教育、  
低炭素経済への移行の加速化等、多岐にわたる国家の優先事項を支援し得る“

- トランプ政権では、連邦調達庁内の **Office of Evaluation Sciences** が  
行動科学等の科学的根拠に基づく施策の実施や効率改善等のため  
行政機関を支援（前政権時の2015年以降活動継続）（SBSTも活動継続）

“We help the government learn what works, what does not work, and what works most  
cost-effectively”.

# 行動科学を公共政策に活用する機関は世界に200以上

OECDによれば、行動科学を公共政策に活用する機関は欧州、北米、豪州を中心に200以上ある(そのうち8割が政府関連機関)



## ナッジの政策への応用（アフリカ）：手洗いの習慣付け・感染症対策



使いたくなる石鹸（ケープタウンでの感染症発生率を7割減）